

日本古典籍のポータルサイト 正式公開へ

先人達の「知」に、だれでも・いつ・どこからでも簡単アクセス

概要

国文学研究資料館（以下「国文研」）は、平成29（2017）年10月27日に、唯一の日本古典籍のポータルサイトである「新日本古典籍総合データベース」を正式公開しました。

このデータベースは、国文研が長年蓄積した豊富な書誌（本の情報）と、国内外のさまざまな機関が所蔵する古典籍（江戸時代以前の書物）のデジタル画像を収録し、**研究・教育の利用は言うまでもなく、メディアや産業界、市民のみなさまにも広くご活用いただけるものです。**

専門用語を知らなくても、多彩な方法で古典籍をさがすことができ、インターネットを通じていつでもどこからでも高精細な画像を見られるよう工夫しているため、だれでも気軽に古典籍に親しむことができます。登録手続きは不要！タブレット、スマートフォンでも利用できます。

平成29（2017）年10月現在、約7万点の画像を公開しています。今後さらに拡大し、将来的には30万点の古典籍全冊の画像を閲覧できるデータベースをめざします。

- 名称：新日本古典籍総合データベース / Database of Pre-modern Japanese Works
- 正式公開年月日：平成29（2017）年10月27日（金）
- 公開データ：書誌 約60万作品、画像 約7万作品（約1000万コマ）
- 公開URL：<https://kotenseki.nijl.ac.jp/>



トップページ（検索画面）



画像ビューア（例）

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター事務局 古典籍共同研究係

E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp

TEL:050-5533-2988 / FAX:042-526-8883

■ プレスリリース ■

新日本古典籍総合データベースの特長

3つの特長

1. **【探しやすい】** タイトルやキーワードでの検索のほか、画像に付けられたタグやおすすめキーワードなど多彩な検索方法があるため、書名や専門的な用語がわからなくても、必要な画像を探すことができます。
2. **【引用しやすい】** 電子データに付与される国際的識別子DOI（デジタルオブジェクト識別子、ディーオーアイ）を採用しているため、永続的なアクセスが保証されます。リンク切れが発生することがないため、論文などに引用するときや、人に教えるときなどに便利です。
3. **【活用しやすい】** デジタルアーカイブの新しい国際的な規格、IIIF（International Image Interoperability Framework、トリプルアイエフ）に基づいた画像ビューアを採用。異なるデジタルアーカイブ間での画像共有や再利用が容易です。

また、利用にあたっての条件（ライセンス）が明示されているので安心して利用できます。たとえば、国文研の所蔵する古典籍は、「国文学研究資料館蔵」と、所蔵を明示していただければ、メディアへの掲載やデザインへの流用などの二次利用も、許可を必要とせず自由です。

外部のウェブサービスとの連携

新日本古典籍総合データベースは、他機関との連携・協力により、古典籍と接する機会をより多く提供していきます。今後さらに連携を拡大していきます。

1. 【CiNii Booksとの連携】平成29（2017）

年10月27日から、CiNii Books（国立情報学研究所が提供している、大学図書館に所蔵された本の情報検索サービス）と連携しています。これにより、CiNii Booksでの検索結果から、古典籍画像を見ることができるようになりました。



CiNii Books : <http://ci.nii.ac.jp/books/>

2. 【オープンデータセット】人文学オープン

データ共同利用センター（情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設に設置されたセンター）のウェブサイトでは、当館との連携で、一作品をまるごとダウンロードできます。これはオープンデータという取り組みのひとつで、奈良絵本など、見るだけでも楽しい作品がダウンロード可能です。今後さらに作品数を増やしていく予定です。

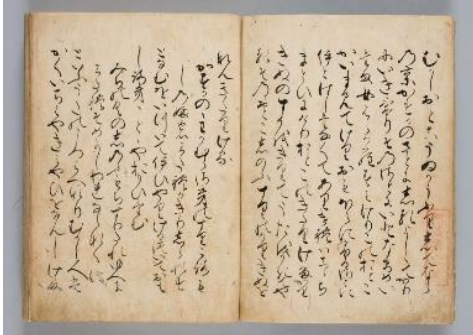


日本古典籍データセット : <http://codh.rois.ac.jp/pmj/>

■ プレスリリース ■

公開画像のご紹介・国文学研究資料館のご紹介

公開画像のご紹介



伊勢物語

(いせものがたり・暦応4年/1341年)

2015年に国文研に寄贈された「鉄心斎文庫」のひとつで、西方上人順覚による写本。

画像は伊勢物語の第一段「初冠(ういこうぶり)」の冒頭部分。

DOI : <https://doi.org/10.20730/200024143>



好色一代男

(こうしょくいちだいおとこ・天和2年/1682年)

初版初刷。

国内に15点しか存在しない貴重な資料。

画像は主人公世之介(よのすけ)8歳時の一コマ。

DOI : <https://doi.org/10.20730/200003076>

国文学研究資料館のご紹介

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館 (東京都立川市 / 館長：ロバート キャンベル)

国文学研究資料館は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。

平成26(2014)年度からは、文部科学省の大規模学術フロンティア促進事業として、人文系では初の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」がスタートしており、国文研が中心となって国内外の大学等と連携し、日本語の歴史的典籍のデジタル化と、国際共同研究ネットワークの構築を推進しています。

【国文学研究資料館】

<http://www.nijl.ac.jp/>

【日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画について】

<http://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>